

# 第65回日本小児神経学会近畿地方会プログラム

【日 時】2019年3月2日（土）

＊近畿地方会 13時25分開始

＊総 会 16時40分～16時50分

＊特別講演 16時50分～17時50分

【テ ー マ】原点に立ち返って子どもを見つめ直す

【会 場】大阪市立総合医療センター さくらホール

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22

TEL：06-6929-1221

【会 長】南 弘一

（和歌山県立医科大学 小児科）

【特別講演】

「診断推論 - 診断する努力を継続すること -」

前垣 義弘 先生

（鳥取大学医学部 脳神経小児科）

## 参加者の皆様へ

【受付】3階ロビーにて12時55分より受付を開始いたします。

【参加費】会 員：2,000円  
非 会 員：4,000円  
研 修 医：1,000円  
学 生：無 料

【抄録集】1,000円（会員には事前発送いたします。）

【単 位】日本小児神経学会専門医制度：発表筆頭者3単位、連名者1単位、参加者5単位  
日本小児科学会 新更新単位 iii 小児科領域講習：1単位

※入場時に芳名録へご記名のうえ、引換券をお受け取りください。特別講演終了後、単位シールと引換となります。

※後日の引換はできかねますのでご留意ください。

※セッション途中で入退場された場合、単位は認定されませんのでご注意ください。

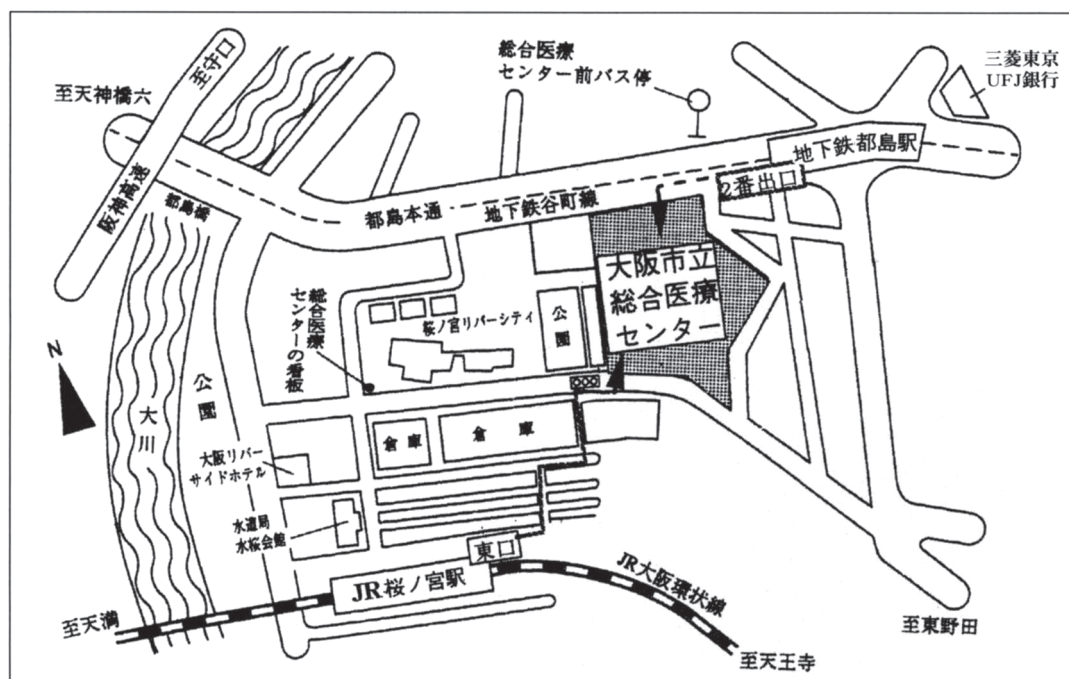
※単位シールの再交付はいたしかねますので、大切に保管してください。

【交通案内】大阪市立総合医療センター さくらホール  
〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22  
TEL：06-6929-1221

### ■電車でお越しになる場合

- ◆ JR大阪環状線「桜ノ宮」駅下車（東口2 北東へ約7分）  
地下鉄谷町線「都島」駅下車（2番出口 西へ約3分）

■駐車場はありません。車でのご来館はご遠慮下さい。



## 発表者の皆様へ

### 【受付・発表時間について】

1. 発表時間の30分前までに発表データをPC受付にご提出ください。
2. 発表6分、質疑4分です。発表時間を厳守してください。
3. 発表開始後6分でベルが1回、質疑終了後ベルが2回鳴ります。

### 【発表使用機材について】

1. 会場に発表用のパソコンをご用意しております。
2. 会場でご利用いただけるパソコンは下記の通りです。  
※ Windows7/8、アプリケーションソフト：Windows MS PowerPoint 2010/2013
3. CD-R (CD-ROM)、USB メモリ持込みの注意点
  - 1) 動画がある場合にはCD-R等のメディアは使用できません。  
必ずノートパソコンをお持込みください。
  - 2) CD-RおよびUSBメモリでお持込みの場合は下記の様式で保存してご用意ください。  
※ Windows…MS PowerPoint 2010/2013
  - 3) Macintoshの場合には、必ずノートパソコンをお持込みください。
  - 4) フォントは文字化けを防ぐため下記フォントに限定します。  
日本語…MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝  
英語…Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
4. プレゼンテーションに他のデータ（静止画・グラフ等）をリンクさせている場合は必ず「図」として挿入してください。  
※元のデータからリンクすることは、トラブルの原因となりますので避けてください。  
※事前に必ず作成に使用されましたパソコン以外でのチェックを行ってください。

### 【ノートパソコン持込みの注意点】

1. OSはWindows、Macintoshが使用できます。  
※使用するアプリケーションはPowerPointのみとさせていただきます。
2. バックアップ用データとしてCD-R (CD-ROM) またはUSBメモリをご持参ください。  
またパソコンのACアダプタは必ずご用意ください。
3. 会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状はMiniD-sub15ピンです。  
この形状に合ったパソコンをご用意ください。またこの形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でご持参ください。

4. スクリーンセーバー、省電力設定、パスワードは予め解除してください。

※発表データ受付時に確認させていただき、設定が解除されていない場合は設定を変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。

※パスワードの設定が解除されていない場合は、パスワードロック時にお呼び出しをする場合がございます。

# 第66回 日本小児神経学会近畿地方会 演題募集のお知らせ

拝啓 先生方には益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、第66回日本小児神経学会近畿地方会を下記の日程で開催いたします。一般演題を募集いたしますので、是非多くのご応募をお願いいたします。

敬具

2019年3月

第66回会長 青天目 信  
運営委員長 鈴木 保宏

## 地方会概要

**【期 日】** 2019年10月5日(土)午後(予定)

**【テ ー マ】** 小児神経疾患の病態から考える

**【会 場】** 大阪市立総合医療センター さくらホール  
〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22  
・JR大阪環状線「桜ノ宮」駅下車(東口2 北東へ約7分)  
・地下鉄谷町線「都島」駅下車(2番出口 西へ約3分)

**【会 長】** 青天目 信(大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)

**【特別講演】** 「小児の中樞神経免疫性疾患」  
吉良龍太郎 先生(福岡市立こども病院)

## 演題募集のお知らせ

- ①単 位：日本小児神経学会専門医制度にて、発表筆頭者 3単位、連名者 1単位、参加者 5単位を算定予定です。
- ②募 集：一般演題
- ③応募資格：筆頭演者は本地方会会員であること
- ④応募方法：下記URLより演題を登録してください。

URL: [https://www.childneuro.jp/modules/about/index.php?content\\_id=21](https://www.childneuro.jp/modules/about/index.php?content_id=21)

### ⑤登録内容

- ・演題名は、全角 50 文字（半角 100 文字）以内になります。
- ・抄録本文は「はじめに」「症例」「考察」「結論」が判るよう、全角 850 字以内で作成してください。
- ・症例報告の場合には生年月日や受診年月日などの日付は個人の特定につながる情報となるため記載しないようお願いいたします。
- ・文字化けやレイアウトが崩れることがありますので、確認のためPDFファイルを作成の上、アップロードしていただくをお願いいたします。
- ・1 週間以内に抄録登録の返信をいたします。登録の返信がない場合は下記へお問い合わせください。

## 演題応募期間：2019年8月1日（木）～19日（月）

演題応募もしくはご入会のお手続き等に関するご質問、その他不明な点がございました場合は下記の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

<演題応募、ご入会等のお問い合わせ先>

日本小児神経学会近畿地方会学会事務局

〒541-0058

大阪市中央区南久宝寺町 3-1-8

MPR 本町ビル 7 階

株式会社 JTB 西日本 MICE 事業部

Tel : 06-6252-5051 Fax : 06-7657-8412

営業時間：9：30～17：30（土・日・祝祭日は休業）

E-mail : [kjscn@jtb.com](mailto:kjscn@jtb.com)

# プログラム

## 開会 13:25 会長 南 弘一

### 心身・神経 座長 井庭 慶典 (近畿大学医学部 小児科)

13:30-14:10

#### 1. 極端な偏食により多彩な症状を呈した自閉スペクトラム症の1例

○前田真範、津田祐子、田村 彰、南 弘一、鈴木啓之  
和歌山県立医科大学医学部 小児科

#### 2. インフルエンザワクチンを契機に心因性非てんかん性発作を繰り返し経過中に発症背景が判明してきた1例

○魚谷周平<sup>1</sup>、津田祐子<sup>1</sup>、田村 彰<sup>1</sup>、南 弘一<sup>1</sup>、鈴木 啓之<sup>1</sup>、辻 知見<sup>2</sup>  
1. 和歌山県立医科大学医学部 小児科  
2. 公立那賀病院 小児科

#### 3. 治療経過中に上矢状静脈洞血栓症と硬膜下血腫を併発した鞍上部腫瘍の11歳男児例

○小林健一郎<sup>1,2</sup>、末廣 穰<sup>1,2</sup>、岩橋円香<sup>1,2</sup>、毎原敏郎<sup>1</sup>、宇佐美郁哉<sup>1,2</sup>、平家俊男<sup>1</sup>  
1. 兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科  
2. 兵庫県立尼崎総合医療センター 小児血液・腫瘍内科

#### 4. 川崎病再燃時に急性散在性脳脊髄炎を合併した1例

○永瀬静香<sup>1,2</sup>、川脇 壽<sup>1,2</sup>、井上岳司<sup>1,2</sup>、山本直寛<sup>1,2</sup>、温井めぐみ<sup>1,2</sup>、九鬼一郎<sup>1,2</sup>、岡崎 伸<sup>1,2</sup>  
1. 大阪市立総合医療センター 小児神経内科  
2. 大阪市立総合医療センター 小児青年てんかん診療センター

### 脳炎・脳症 座長 田村 彰 (和歌山県立医科大学 小児科)

14:10-14:50

#### 5. 溶血性尿毒症症候群発症と同時に脳症を発症した一例

○徳元翔一<sup>1,4</sup>、山口 宏<sup>1,4</sup>、豊嶋大作<sup>1</sup>、丸山あずさ<sup>1</sup>、黒澤寛史<sup>2</sup>、稲熊洋祐<sup>3</sup>、堀之内智子<sup>3</sup>、貝藤裕史<sup>3</sup>、永瀬裕朗<sup>4</sup>、飯島一誠<sup>4</sup>  
1. 兵庫県立こども病院 神経内科  
2. 兵庫県立こども病院 小児集中治療科  
3. 兵庫県立こども病院 腎臓内科  
4. 神戸大学大学院医学研究科 小児科



## 6. サルモネラ腸炎に可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳症 (MERS) を合併した一例

○平山健太郎<sup>1</sup>、土谷充貴<sup>1</sup>、前田真範<sup>1</sup>、水沼真也<sup>1</sup>、比嘉明日美<sup>1</sup>、澁田昌一<sup>1</sup>、宮脇正和<sup>1</sup>、南 弘<sup>2</sup>

1. 紀南病院 小児科
2. 和歌山県立医科大学 小児科

## 7. けいれん重積型脳症における髄液IL-6値の検討

○宮本洋輔、近藤秀仁、短田浩一、西村 陽、木崎善郎  
京都第一赤十字病院 小児科

## 8. 初発症状と反対側に再発した抗NMDAR抗体陽性非ヘルペス性辺縁系脳炎の女児

○山口 宏<sup>1,2</sup>、徳元翔一<sup>1,2</sup>、豊嶋大作<sup>1</sup>、藤井栄一<sup>3</sup>、永瀬裕朗<sup>2</sup>、田中恵子<sup>4</sup>、高橋幸利<sup>5</sup>、丸山あずさ<sup>1</sup>、飯島一誠<sup>2</sup>

1. 兵庫県立こども病院 神経内科
2. 神戸大学医学部 小児科
3. 明石医療センター 小児科
4. 新潟大学 脳研究所モデル動物開発分野
5. 国立静岡てんかん・神経医療センター

—14:50-15:00 休憩—

## 神経免疫・てんかん

---

座長 井上 賢治 (滋賀県立小児保健医療センター 小児科)

---

15:00-15:50

## 9. ふらつきと両眼瞼下垂を認め抗GD1b抗体が陽性であったギラン・バレー症候群重型の1歳男児例

○平野藍子、島 盛雅、江藤早苗、沖永剛志  
ベルランド総合病院 小児科

## 10. 抗neurofascin155抗体関連CIDPと診断した14歳男児の一例

○矢野直子<sup>1</sup>、吉田健司<sup>1</sup>、舞鶴賀奈子<sup>1</sup>、横山淳史<sup>1</sup>、滝田順子<sup>1</sup>、駒喜多由紀<sup>2</sup>、牧野 茂<sup>3</sup>、丸山立憲<sup>3</sup>、緒方英紀<sup>4</sup>、吉良潤一<sup>4</sup>

1. 京都大学医学部附属病院 小児科
2. 京都府立こども発達センター診療所 精神科
3. 宇治徳洲会病院 小児科
4. 九州大学大学院医学研究院 神経内科学

## 11. フェノバルビタールにより凝固機能異常を来したびまん性肺胞出血の女児例

○西川絹子、木村暢佑、中森いづみ、関屋朱音、大封智雄、住尾健太郎、林 貴大、樋口嘉久

日本赤十字社 大津赤十字病院 小児科

## 12. てんかん治療中に stroke-like episodes によるけいれんを認めた Sturge-Weber 症候群の男児例

○中島 健、平野翔堂、大星大観、木水友一、池田 妙、最上友紀子、柳原恵子、鈴木保宏  
大阪母子医療センター 小児神経科

## 13. アレキサンダー病に合併した難治性てんかんに対してケトン食療法が有効であった一卵性双生女児の2例

○川口達也<sup>1</sup>、榊原崇文<sup>1</sup>、伊藤陽子<sup>1</sup>、水田依久子<sup>2</sup>、吉田誠克<sup>2</sup>、嶋 緑倫<sup>1</sup>

1. 奈良県立医科大学 小児科

2. 京都府立医科大学 脳神経内科

## 遺伝・変性・脳外科

---

座長 吉田 健司 (京都大学大学院医学研究科 発達小児科学)

15:50-16:30

## 14. ‘頭のかたち’外来について

○山田淳二、竹本 理、千葉泰良、山田修平

大阪母子医療センター 脳神経外科

## 15. CACNA1A 遺伝子の新規変異を認めた周期性失調症2型の男児例

○尾崎 望

京都保健会かどの三条こども診療所

## 16. TIMM8A 遺伝子に新規変異を同定した Mohr-Tranebjaerg 症候群の男児例

○石田悠介<sup>1</sup>、永井正志<sup>1</sup>、坊 亮輔<sup>1</sup>、富岡和美<sup>1</sup>、村尾真理子<sup>1</sup>、田中 司<sup>1</sup>、西山将広<sup>1</sup>、栗野宏之<sup>1</sup>、永瀬裕朗<sup>1</sup>、佐伯啓介<sup>2</sup>、森貞直哉<sup>3</sup>、飯島一誠<sup>1</sup>

1. 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野

2. 西脇市立西脇病院 小児科

3. 兵庫県立こども病院 臨床遺伝科

## 17. 不随意運動・視神経萎縮と基底核の信号異常を合併し、MECR 遺伝子異常と診断された1例

○林 良子<sup>1,2</sup>、青天目信<sup>1,2</sup>、中井理恵<sup>1,2</sup>、谷河純平<sup>1,2</sup>、富永康仁<sup>1,2,3</sup>、下野九理子<sup>1,2,3</sup>、  
松下賢治<sup>4</sup>、大藺恵一<sup>1,2</sup>

1. 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学
2. 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター
3. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科
4. 大阪大学大学院医学系研究科 眼科学

—16:30-16:40 休憩—

—16:40-16:50 総会—

特別講演 座長 南 弘一 (和歌山県立医科大学 小児科)

16:50-17:50

「診断推論 - 診断する努力を継続すること -」

鳥取大学医学部 脳神経小児科 前垣 義弘 先生